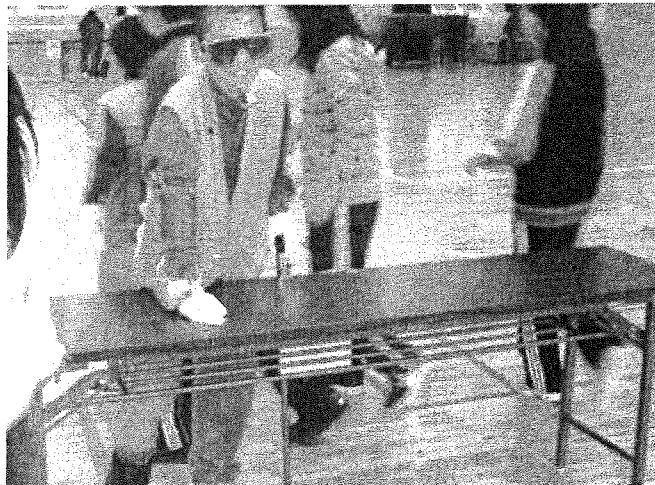


高齢者疑似体験



たいへんだあ



高齢者疑似体験の説明

取	り	て	樂	る	く	か	も	わ	え											
り	み	し	だ	し	て	な	う	た	。											福
組	た	ま	ち	な	。	き	ら	し	。	仕	事									祉
ん	ち	、	こ	と	い	て	や	は												體
た	六	た	そ	思	い	き	ま	、												驗
。	年	。	ん	つ	か	し	い	お												を
そ	生		な	て	く	、	か	ば												通
の	は		考	い	、	察	し	あ												し
中	、		考	た	お	で	宿	ち												テ
の	福		は	は	ば	コ	題	や												気
一	社		、	あ	ロ	モ	學	ん												づ
つ	の		ふ	ち	コ	や	校	が												い
と	学		き	や	ロ	や	學	に												た
し	習		と	ん	ん	ら	校	も												こ
て	に		ん	は	き	な	行	い												と

耳	り	て	方	社	た	の	そ	も	お	い	た									高
栓	と	く	身	か	会	そ	か	上	ば	た	。									齡
や	聞	だ	に	来	福	し	ら	り	あ	た	。									者
眼	い	さ	つ	て	社	ア	だ	に	ち	な	セ									疑
鏡	た	、	け	く	協	、	。	く	ち	せ	シ									似
、	、	た	る	だ	議	体	分	上	か	は	は									體
ひ	道	、	道	さ	會	験	の	り	う	と	、									驗
じ	具	ち	具	、	の	す	で	に	い	、	、									を
や	に	た	に	た	成	る	感	し	家	う	構									す
膝	は	し	つ	、	当	じ	う	て	の	と	、									る
に	、	は	い	そ	日	て	に	い	階	、	、									こ
つ	例	、	て	し	。	み	し	い	段	わ	み									と
け	え	し	説	て	と	た	て	し	を	た	に									に
る	ば	、	明	、	學	か	い	な	い	し	し									な
サ	、	か	し	体	う	に	フ	る	せ	つ	の									、

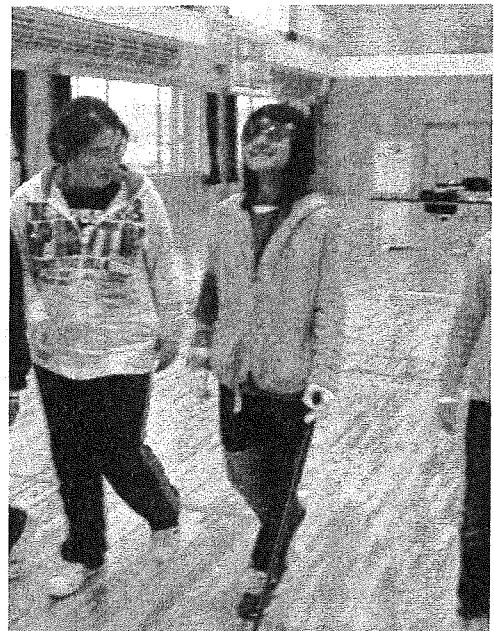
	て	体	り	伝	つ	の	年	し	歩	あ	眼	は	ボ
初	い	験	体	た。	体	道	寄	て	き	る	鏡	は	一
め	、	コ	が	た。	験	具	り	使	づ	か	耳	、	タ
に	た。	重	ま	か	だ	の	の	う	ら	ち	オ	が	一
少	、	チ	友	始	た。	体	そ	く	く	か	レ	聞	重
し	た。	テ	達	は	ま	の	な	な	く	リ	ン	こ	り
た	か	だ	の	、	、	状	れ	る	く	ブ	シ	え	、
け	あ	た	様	友	た。	態	ぞ	の	ら	色	ズ	づ	、
は	り	子	達	、	、	に	お	で	く	う	ら	う	杖
な	、	を	か	グ	、	な	の	、	、	な	と	す	な
お	そ	い	見	ル	、	り	道	そ	る	る	。こ	る	と
で	れ	ろ	て	、	、	き	具	の	か	。	に	た	だ
、	を	い	る	ア	、	る	補	、	た	は	何	め	。
簡	回	ろ	か	を	、	め	助	、	め	、	か	、	耳栓
	な	な	な	手	や	お	と						

	た。	は	持	自	つ	た。	と	ー	と	、	ば	か	単
次	、	聞	ち	分	と	同	い	え	言	い	あ	ど	文
に	に	ニ	が	で	答	う	？	？	う	。	な	う	問
、	え	え	よ	も	え	じ	よ	？	と	。	た	か	題
視	す	す	く	や	る	質	う	何	、		の	と	を
力	、	、	分	こ	問	な	？	？	、		誕	い	出
に	少	少	か	て	と	を	こ	う			生	う	し
つ	し	し	フ	み	か	二	と	一			日	体	、
い	理	理	大	る	で	、	が	回			を	驗	そ
て	解	解	。	と	き	三	た	、			教	だ	。
の	し	し	、	、	た。	回	く				え	が	、
体	づ	づ	友	達	、	さ	さ				て	た	聞
験	ら	ら	達	、	、	ん	ん				く	。	こ
コ	か	か	の	れ	、	あ	、				だ	例	え
।	、	、	と	気	を	や	、				さ	え	る

本	と	書	え	う	い	フ	と	見	五	十
当	て	き	て	と	ア	モ	ナ	え	て	一
に	も	終	み	思	ア	書	キ	な	気	が
わ	き	わ	る	る	ア	い	キ	な	づ	あ
た	た	た	と	て	ア	テ	キ	い	い	つ
し	女	て	い	手	ア	イ	カ	と	た	た。
か	い	字	よ	が	ン	ル	ア	ニ	こ	この
書	に	く	か	ア	ル	モ	自	と	こ	体験
い	な	見	持	ア	ル	ナ	分	は	こ	は、
大	ア	て	て	ア	ル	道	の	と	た	た。
字	み	な	な	ア	ル	具	名	だ	た。	この
な	い	る	か	ア	ル	キ	前	た	た。	体験
の	い	る	か	ア	ル	タ	を	た	た。	は、
か	た	と	ふ	ア	る	だ	書	く	く	た。
と、	。	た。	る	ア	る	ろ	く	コ	く	て

ち	ち	あ	き	う	す	ら	「	し	の	と	フ
や	い	た	に	し	べ	助	お	成	体	言	ビ
ん	ろ	し	手	て	て	け	年	田	驗	つ	ツ
は	と	は	伝	も	を	り	寄	さ	が	な	。
樂	考	、	、	で	手	の	り	ん	終	ん	。
だ	え	こ	て	き	伝	人	が	ん	わ	ん	。
と	さ	の	あ	す	う	た	、	な	り	て	。
思	せ	話	げ	に	ま	ち	た	な	、	い	。
っ	ら			因	で	しょ	ち	な	社	る	。
て	れ			は	は	う	が	ふ	会	か	。
い	た	聞	い	よ	、	。	、	う	福	か	。
た	。			て	、	、	、	う	祉	か	。
が	お			、	、	、	、	に	協	ら	。
、	ば			、	、	、	、	お	議	な	。
全	あ	い	と	ど	、	、	、	、	会	い	。

の	は	る	ら	け	さ	た	あ	つ	く	い	く
な	み	。お	な	ど、	か	く	た	そ	た。	ん	だ
ん	ん	が	人	、	た	さ	し	れ	た。	に	ち
だ	な	年	の	い	。	ん	も	か	。	も	か
と	支	寄	力	ろ	自	あ	手	う	。	段	が
強	え	り	を	い	分	る	助	、	。	を	。
く	合	の	借	ろ	で	こ	け	よ	。	全	て
感	つ	方	り	な	で	と	さ	く	。	ち	い
じ	て	だ	ア	場	き	に	考	。	を	た	た
た。	生	け	生	面	る	改	れ	え	。	の	。
	き	で	活	で、	こ	い	て	。	す	か	。
	て	な	で	き	と	の	る	み	、	の	。
	い	く	て	ろ	て	は	こ	る	。	で	。
	く	も	人	い	い	や	ア	と	。	は	。
				る	。	が	。	、	。	な	。



高齢者の体

藤崎小学校

六年

唐牛詩織

「体がうまく動かない。」
 私たちは、総合的な学習の時間に、「福祉」について学習する中に、
 なリました。福祉といつても、イイ處であります。私たちにはたくさんあります。
 メージできることにはたくさんあります。私たちにはいろいろなことがあります。
 を考えました。その中でも、多かっただのが、お年寄りの方々につい
 てでした。

「うと思つていましたが、別に大丈夫だろ。」
 身につける前は、別に大丈夫だろ。
 くなら眼鏡をつけたり、見えた。耳せんをつけたり、いぢ
 ました。
 それよりも大変なことがありました。
 た。
 いのいでみると、足が重くて上手く動かなくな
 に歩くのは、結構大変でした。
 だまでは、手足についでしまった。
 だと、いうことがわからました。
 うと見ていましたが、高齢者はすごく大変
 ました。
 た。
 いのいで、足が重くて上手く動かなくな
 に階段を上つたり下りたりして、それ
 がでた。
 た。
 いのでも、

それは、字を書くことや視力についてです。字を書くとき、首が重くて大変でした。それに、手の指が悪い通りに動かないし、自分が重くして大変でした。それで、視力が弱いので、よく見えず、どうに書けばいいのかも分からませんでした。まるで、自分が自分じながらしまった。自分が想像した色がありまして、それから見えにくがつた。私は、自分が想像していませんでした。

私は、お年寄りの方にはやさしく接したいと感じました。たしかに、私は、お年寄りの方は生活するこ

と自体が大変だと、うことを感じました。まことに、私は、お年寄りの方は、本當の半分以下です。

私は、お年寄りの方は、本當の半分以下です。

「今体験したのは、本当に嬉しいました。」

「今体験したのは、本当に嬉しいました。」

るとさに、助けてあげてください。
本当に困っているお年寄りの方が
いたら助けてあげてください。」
ということです。私は、このこと
を聞いて、「お年寄りの方だと
できることは自分でやります。
うう」と思いました。だから、私
は、本当に助けが必要な方がいた
うと思いまして。だから、私は
ら、声をかけたり、助けたりしよ
うと思いまして。
私は、高齢者疑似体験をやつて、
本当に良かっただと思います。
以上に、体が思うように動かない
以上の方は、私たちが思ってい
る

て、それだけではなく、お年寄りの
方ができました。「本当に困っ
て、いる人に 대해서手を差しのべ
ることができました。」
といふことに気をつけたい。
してだけではありません。全ての
人に 대해서、そのように接してい
けたらいいなと思います。本当に
良い経験をすることができました。本当に

あ	る	か	私	た	み	「	担	任	や	ア	一	不
る	と	は	。	な	ん	や	の	の	り	学	六	自
日	思	た	福	な	り	や	先	生	や	習	年	由
、	、	、	社	の	た	り	生	が	り	、	生	、
、	、	、	に	の	い	く	が	ま	す	、	は	、
福	社	に	輝	が	い	く	き	ま	ぐ	、	毎	、
レ		フ	輝	か	い	く	ま	し	す	、	年	、
ヒ			輝	ら	い	く	し	た	ぐ	、	葛	、
い			輝	、	い	く	た	が	、	西	、	感
う			輝	す	、	く	、	、	、		、	じ
言			輝	こ	よ	く	、	、	、			？
葉			輝	く	る	よ	、	、	、			
か			輝	勉	よ	う	、	、	、			
			輝	強	よ	う	、	、	、			
			輝	か	た	だ	、	、	、			
			輝	に	た	う	、	、	、			
			輝	に	た	う	、	、	、			

な	か	し	見	で	い	て	、	年	り	い	か	、	う
く	い	か	交	考	て	、	、	寄	し	う	人	、	思
て	な	し	換	え	、	る	、	、	た	、	々	、	い
大	い	、	私	、	、	の	、	、	、	、	、	、	、
変	の	私	た	み	し	、	、	、	、	、	、	、	、
た	の	の	た	た	、	、	、	、	、	、	、	、	、
た	の	家	り	た	、	、	、	、	、	、	、	、	、
。	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
た	な	に	な	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
。	か	は	が	と	始	、	、	、	、	、	、	、	、
み	な	、	ら	な	ま	、	、	、	、	、	、	、	、
ん	か	祖	考	り	、	、	、	、	、	、	、	、	、
な	愚	父	え	の	た	、	、	、	、	、	、	、	、
は	い	も	て	人	、	、	、	、	、	、	、	、	、
た	つ	祖	み	と	自	、	、	、	、	、	、	、	、
く	か	母	た	意	分	、	、	、	、	、	、	、	、

た	人	老	た	さ
だい	体	人	く	ん
の	の	木	さ	考
た	状	木	ん	え
。	態	ん	あ	て
お	を	ム	ん	い
年	体	、	な	た
寄	験	ト	か	の
り	で	と	た	。
に	き	い	。	で
な	る	う	。	、
と	と	う	。	す
ア	い	年	。	ニ
み	う	寄	。	い
る	こ	に	。	と
の	と	い	。	思
	の	よ	。	

し	教	一	け	体	を	か
・	え	社	た	験	書	か
か	れ	会	。	の	く	ビ
り	ま	な	。	内	ワ	ん
と	す	と	。	容	一	な
す	た	ん	。	道	ク	感
る	さ	た	。	具	シ	じ
こ	い	。	。	に	ー	な
と	方	。	。	道	ト	の
は	に	。	。	具	。	か
、	、	。	。	に	。	と
す	あ	。	。	は	。	興
ご	い	。	。	、	。	味
く	さ	。	。	と	。	が
大	つ	。	。	に	。	わ
を	を	。	。	か	。	い

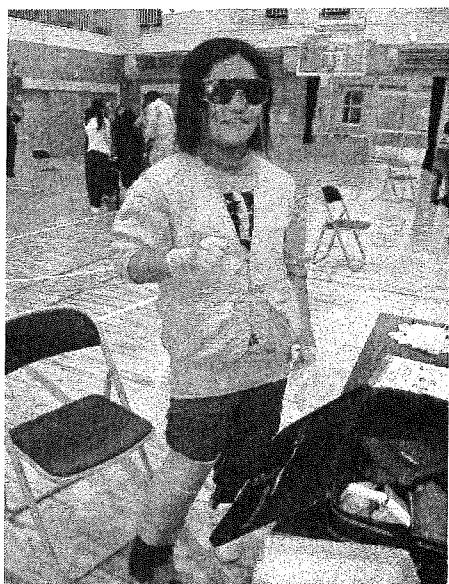
か	な	こ	と	。
朝	か	つ	い	に
六	時	間	目	体
時	か	ら	に	験
間	い	て	に	体
早	く	五	大	馬
午	た。	、	時	験
後	。	、	間	樂
に	は	に	目	當
こ	も	は	に	日
に	な	り	や	そ
に	う	う	る	う
に	に	、	こ	思
に	は	、	と	。
に	は	、	に	が
に	は	、	た	や
に	は	、	た。	、
に	は	、	た。	た。
に	は	、	ほ	き
に	は	、	い	た。
に	は	、	か	た。

ト	ん	か	う	う	と	思
見	た	あ	た	わ	た	。
る	。	か	た	り	、	。
使	た。	私	た。	私	た	。
を	。	の	。	の	。	。
し	。	道	。	の	。	。
す	。	具	。	に	。	。
に	。	そ	。	る	。	。
す	。	う	。	る	。	。
ら	。	さ	。	こ	。	。
す	。	た	。	は	。	。
ら	。	た	。	は	。	。
と	。	け	。	グ	。	。
歩	。	た	。	ル	。	。
い	。	て	。	ー	。	。
に	。	見	。	ー	。	。
は	。	て	。	ー	。	。
人	。	る	。	ー	。	。
も	。	木	。	ー	。	。
		杖	。	ー	。	。
		と	。	ー	。	。
		く	。	ー	。	。
		さ	。	ー	。	。
		ん	。	ー	。	。
		な	。	ー	。	。
		が	。	ー	。	。
		最	。	ー	。	。
		後	。	ー	。	。

いよいよ私の番になり、道場を
しかりと着替した。耳栓がなかなか
なか入らなくて大変だった。立ち
上がりと、予想以上に体が重くて
おどろいた。ます、名前を書く体
験をした。手袋のような物をつけ
ていいるので、書きにくくて大変だ
った。一番苦労したのは、視力に
ついての体験だ。私はもともとも
と視力が悪いので、体験用の眼鏡
をつけてみると、本当によく見え
ない状態になってしまった。みんな
とができたと思ふ。
お年寄りに近い状態で体験するこ
とが、感想発表があ

た。私は発表できなかっただけで、
みんなの感想はとてもよいものだ
った。その中に、「お年寄りに声
をかけてあげたり」という意見が
あつた。私は共感した。その時、
社会福祉協議会の成田さんがあ
んたはアドバイスをしてくれた。
「声をかけることはいいことだ。
私は、このことはしない。
でもおこうと思つた。
私は、このことはしない。
けってあげてください。
場合もあるのでは、気をつけなくては失礼な
ださい。困っている人に声をか
けた。私は、このことはしない。
かりヒ覽え

と	思	う。
か	た	福
た	ら	社
か	福	に
た	福	に
か	福	い
た	ま	学
か	ち	習
た	か	が
か	な	な



足が上がらなくして、階段を一段と上り下り歩きました。足を固定して歩きにくいういの年でした。
 状態で、足を固定して歩きにくいういの年でした。
 次に一足を固定して歩きにくいういの年でした。
 かなと思ふと、黄かりました。お年でした。
 寄りの方も見えにくいや色がありました。
 といふことがあわかにありました。
 した。
 などど。
 「どんな形に見える？」
 海斗さんにおじいさんに問題を出しました。
 な。
 「これは何色？」
 どんなどど。
 「どちらは見えます？」
 たちは、「見えます」。
 らい見えます。
 た。眼鏡をかけたまままで、どれく
 た。味津々でした。
 そして、実際の体験に入りました。

ど、人? くて、私も体験して、何度も聞き返して言つて、耳栓をしても、うるさいから、耳栓をします。
 何回も聞こえない出しだが、聞こえづら。

いと思いまして、お年寄りが階段で転びました。
 なつて、いたら、手をかしてあげた。
 下りるときも、転びた。
 になつて危ないと思いまして、お年寄りが階段で転びました。
 いと、思いました。
 それから、耳栓をします。
 えづらいで、大きな声で言つて、耳栓をするといふことをしました。
 ので、大きなかつた。耳栓をしても、うるさいから、耳栓をします。
 と、何度も聞き返して言つて、耳栓をしても、うるさいから、耳栓をします。
 くて、身を乗り出しだが、聞こえづら。

は	た。	会	の	す	か	で	ま	り
、	そ	の	方	べ	べ	、	し	寄
中	中	が	が	れ	て	、	た。	り
で	で	お	話	て	し	、	。	の
、	一	社	終	ま	ま	と	。	方
番	心	会	わ	い	み	し	。	と
に	に	福	る	ま	ま	し	。	話
残	く	祉	と	と	み	し	。	す
つ	さ	協	、	し	ま	た	。	よ
た	い	議	、	た	し	た	。	う
の	ま	議	が	か	た	だ	く	く

か	た。	さ	私	強	た	を	と	「
、	私	ん	は	に	の	や	い	お
祖	に	の	、	な	で	っ	う	年
父	も	こ	こ	り	、	こ	な	寄
や	、	と	の	ま	、	と	い	り
祖	祖	を	体	ま	そ	あ	い	の
母	父	学	驗	し	れ	げ	け	方
は	や	ぶ	を	た	を	る	ま	と
、	祖	こ	通	。	聞	持	。困	手
何	母	か	し	。	い	ち	ま	伝
度	が	で	て	、	て	、	よ	つ
も	き	き	、	た	も	な	う	良
聞	ま	ま	、	く	て	っ	い	い
き	ま	し	、	た	も	て	こ	う
返	す	し	、	く	い	て	と	う

してくることがあります。
らは、何度聞き返しても
困つてあげたいと思いまし
た。そこでも答えて、
助けてあげたいと思いま
す。
困つているお年寄りの方
がいたら、そ

